



Daito Chuo Osaka Japan

第2660地区 大東中央ロータリークラブ

*事務所

〒574-0046
大東市赤井1-2-10-4F
TEL : 072-872-6349
FAX : 072-872-6552
E-mail : dc-rc@eagle.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.dcrc31477.com/



*例会

毎週水曜日 12:30~13:30
ホテル阪奈
〒574-0012 大東市龍間266-8
TEL : 072-869-0181
FAX : 072-869-0105

■会長:寺田晟二 ■幹事:白川初美 ■広報:住川奈美



RI会長 フランチェスコ・アレツツォ
2025~2026年度
国際ロータリー・テーマ
よいことのために手を取りあおう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

第 1190 回 例会	令和 7 年 7 月 30 日
第 1191 回 例会	令和 7 年 8 月 6 日

開会点鐘 : 12:30
 ロータリーソング : 「奉仕の理想」
 来客紹介 : 親睦活動委員長
 会長の時間 : 会長
 諸報告 : 幹事、各委員長、出席報告、ニコニコ箱
 卓話 : 「自己紹介」 小西賢一 会員
 閉会点鐘 : 13:30

次回(8/20)のお知らせ

卓話 : 「おしゃべりスタジオが育む、“居場所”と“小さな挑戦”」 中村 朋子 会員

7 月 30 日の例会の記録

出席報告

会員数 : 22 名
 出席者数 : 10 名
 欠席者数 : 8 名
 出席規定免除者数 : 4 名
 出席率 : 55.55 %
 6月11日 修正出席率 : 61.11 %
 ↓
 80.00 %

お知らせ

- ・8/13(水) 定款による休会
- ・8/27(水) 卓話 : 会員増強月間に因んで
- ・8/30(土) クラブ青少年奉仕合同委員長会議 北田
13:30~16:30 大阪YMCA国際文化センター
- ・9/3(水) 卓話 : 伊泊会員
- ・9/6(土) 2025-26年度 地区ロータリー財団セミナー 大東
13:00~16:00 大阪YMCA国際文化センター 2階ホール



ニコニコ箱 (7/30合同例会)

- ・初めての合同例会楽しみです。 大東会員
- ・合同例会楽しみです。 吉村会員
- ・合同例会を祝して！ 清水会員
- ・合同例会！活気感じますね！！ 白川会員
- ・合同例会楽しみにしています。
青田・荒金・北田・中村・住川・寺田 各会員

当 日 計 ¥22,000
今期累計額 ¥151,000

..... 7 月 17 日の例会の記録

出席報告

ニコニコ箱

会 員 数	: 22 名	・本日はご来店いただき感謝申し上げます。これを機に今後ともよろしくお願ひします。(大阪西RC)相崎秀樹氏
出 席 者 数	: 18 名	
欠 席 者 数	: 3 名	・進発式おめでとうございます。多数の出席ありがとうございます。寺田会員
出席規定免除者数	: 1 名	
出 席 率	: 85.71 %	・寺田会長！！本日ありがとうございます！！みんなで楽しく！！盛り上げていきましょう！！ 白川会員
6月4日 修正出席率	: 57.89 %	
	↓	・寺田会長30周年に向けてよろしくお願ひします。吉村会員
	72.22 %	・寺田会長、本日はお招きいただきありがとうございます。 青田・大東・岩本・川西・北田・森原・西村・清水・住川・多田羅 各会員
		・本日の移動例会、寺田会長ありがとうございます。西垣会員
		・移動例会楽しみです！ 中村会員
		・おいしそうな焼肉屋さんうれしいです。 荒金会員
		・本日は大雨でしたが、気温が下がり嬉しいです。 田中会員
		・遅くなりました。 庵谷会員

お客様

ビビアン様

米山奨学生 孫沢子様

当 日 計 ¥57,000
今期累計額 ¥129,000



◀ 会長の時間 ▶ (7月17日移動例会)

会長 寺田 晟二



本日はお忙しい中、移動例会のため多くの皆様にご出席くださり誠にありがとうございます。平素はクラブ運営の為いろいろとご支援ご協力をいただき重ねて御礼申し上げます。これだけ多く出席いただきますと、今年度のテーマ30周年を新たな仲間と共に愉しもう、というこのテーマにふさわしい移動例会になりそうです。

〔委員会報告〕

委員会報告 30周年記念事項委員会より

実行委員長 西垣文雄

2025年7月9日 11時より例会場にて第3回目の委員会を開催いたしました。

- ・メンバー : 東坂会員のご逝去による削除、新規入会予定の有田三千子氏と小西賢一氏には記念事業部門に入って頂く。
- ・記念事業について: 岩本アドバイザーのご尽力も得て吉村委員長の下で後記の内容をまとめて頂き実施することとし、理事会の承認後実施の運びとする。
- ・台中南門RCのウェルカムパーティは大川のクルーズ(カトウプレジャー)により実施する。3か月前からの予約となっており、参加人数から2隻の予約となる。
- ・別途台中南門RCとの親睦ゴルフコンペも国際奉仕委員会双子クラブ森原委員長の担当にて実施する。
- ・記念式典、祝宴については住川委員長にて詳細を詰めて頂いており、現在までの経過報告として、
司会: 木村博子(元会員)と荒金正之
ソングリーダー: 中村朋子
- ・招待者の選定 祝辞の依頼: 西垣文雄、北田宗男、住川奈美
- ・招待状の印刷: 清水順市
- ・記念品の選定: 白川初美



- ・スライドショーについて：荒金、事務局により外注にて計画。
- ・アトラクション：住川委員長を中心に推進する案がまとまり次第報告。

以上現時点での経過概要をご報告いたします。
ご意見等遠慮なくお申し出のほど宜しくお願い致します。

2025年7月吉日

30周年記念事業

総額 2,964,670 円

(実質：2,508,670 円)

記念事業委員会

① 高齢介護室 1,192,400 万円

末広公園 テーブルベンチ 2つ

② 生涯学習課 499,400 円

飯盛城跡等 説明板盤面取替

③ 教育 114 万円 (インターネット注文の為価額変動有)

全大東市立幼・小・中学校 13 校

不登校の居場所 備品

内訳：地区補助金 456,000 円 実質経費：684,000 円

④ 野外活動センター 132,870 円

Tシャツ 150 人分



●)) 7月17日の卓話 ((●

— 新 年 度 活 動 方 針 —

◇クラブ奉仕

委員長 西村 了

今年度、クラブ奉仕委員会は会長方針にもあります会員増強を優先にもち
30周年事業 他委員と協力を踏まえ 奉仕の精神 皆が活躍出来るよう
コミュニケーションを大事にしていきたいと思っておりますので
皆さまのご協力宜しくお願い申し上げます。

◇職業奉仕

委員長 住川 奈美

2025-2026 年度 職業奉仕委員長を拝命致しました住川です。
職業奉仕委員長は過去3回ほどさせて頂いたかと思いますが、ロータリーに於ける
職業奉仕の位置づけは、以前とは少し変化してきているように思います。
職業奉仕とは、{倫理観を基礎にした勤労による社会貢献} と考えるのが私にとっ
て 一番 理解し易いと感じています。やみくもに利益追求を蔑視することではない
と思っています。
大東中央ロータリーの会員の皆様の職業に対し、一人ひとりが理解を深め、敬意を
もって 接する事から生まれる繋がりも大切にしていきたいと思っております。
卓話の時間に聞かせて頂く会員各自の職業の話をもう少し頻回に聞き、理解を深め
る時間を取りたいと思っております。
また、地区職業奉仕委員長の荒金会員に職業奉仕の真髓を是非 語って頂きたいと
思います。

◇社会奉仕

委員長 庵谷 和宏

令和7～8年度の社会奉仕委員長を仰せつかりました庵谷です。
私自身は2度目となる夜会方針委員長になります。
委員長 庵谷 和宏
委員 吉村 悦子
本来なら、その経験を生かしてと言いたい所ですが、
現状は、会員の減少による会費総残高の減少など
クラブの運営においても何もかもを今まで通りに行っていると
近々問題が出てくるのではと、考えないといけない状況になっています。
そんな中、当クラブでは、この新年度に創立30周年記念式典の
開催に向けて準備を進めておりますので、当年度の社会奉仕委員会としては、
この記念式典の応援に、この予算を使えたら良いと考えております。
以上、社会奉仕委員長として社会奉仕委員長としての方針を
発表致します。



◇国際奉仕

委員長 田中 正美

国際ロータリー会長のテーマ

「よいことのために手を取りあおう」

とてもよい、わかりやすいメッセージだと思いました。人として、当たり前のことですが、改めて、文字にしてみますと、優しさが溢れています。

私は、国際奉仕委員長という役目をお引き受けしましたが目標は心穏やかによいことのために、皆が手を取り合えるようなクラブ運営に役立ちたいと思っています。30周年を迎えるに当たり、周年事業に協力し、委員会としては、寺田会長の目標に協力して参りたいと思います。

ロータリー財団	1人あたり150ドル
ポリオ基金	1人あたり 50ドル
恒久基金	ベネファクター1人以上
米山基金	1人あたり3万円

とします。

会員、皆様のご協力よろしく申し上げます。

◇青少年奉仕

委員長 北田 宗男

本年度青少年奉仕委員会は、大東市こども会育成連絡協議会への協賛、地域の青少年健全育成団体等との奉仕活動をかんがえております。

大東市こども会育成連絡協議会への協賛では、大東市教育委員会での「ポスター及び壁新聞」の審査を行いその入選者に「こども会フェスティバル」に於いて「大東中央ロータリー賞」を贈る事を実施いたします。

又、地域の青少年健全育成団体との関係をより深め予算に限りはありますが、何らかの奉仕活動を行いたいと考えております。

ご協力の程お願い申し上げます。

◇親睦活動

委員長 森原 正樹

親睦はロータリー会員同士にとって大切なことだと思っていますので、全会員が出席出来るよう委員全体で話し合い決めたいと思います。

本年度は周年事業もありますので、活動としてはクリスマス親睦会のみを予定をしています。

会員皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。



《 会長主催の会食会 》

会長挨拶

会長 寺田 晟二



移動例会に多数のご出席いただき誠にありがとうございました。

この移動例会の提案は白川幹事から意見を出され急な変更になりましたけれども、16日の例会を本日の会食会

と合わせて実施することにより、日程が1日減ります、そしてこの多数の皆様の出席による例会の開催はあらゆる面から見まして合理的かつ有効な判断であったと思います。

白川幹事ありがとうございました。

本日の会食会は30周年の進発式でもあります、前々から大東中央ロータリークラブ全員参加で実施するつもりでありました、その私の思いを汲んでいただき21名の出席者をいただき大変よろこんでおります。誠にありがとうございました。

さて、30周年を、新しい仲間と共に、愉しもう。と掲げました、

前年度の地区ガバナーがおっしゃっておられました、会員の増加、例会の出席率向上はクラブの力です、いやクラブの質も良くなります。欠席の多いクラブは衰退です、

今日の出席率は最高です。また今年度のスタート月に2名の新会員が仲間になってくれました。最高です、小西さんと有田さんです。

宜しく申し上げます。

いよいよ30周年のスタートが切られました、実行委員会も佳境に入ってまいりました、この30周年記念事業、記念式典、を全員参加で全員が主役で思い出に残る周年にしたいとおもいますがいかがでしょうか。式典当日にお世話になりますビビアンさん宜しく申し上げます、米山奨学生の孫さんもよろしく申し上げます。

サー今日は思い切り飲んで食べて楽しんでください。



**移動例会
寺田会長主催会食
2025年7月17日(木) 18時30分より
「たちばな」にて**





●)) 7月30日の卓話 ((●

2025-26 年度 ガバナー公式訪問合同例会
ガバナー卓話



今年度ガバナーを拝命しております吉川健之です。
本年度のガバナー公式訪問は合同例会方式を中心に行っております。
お忙しい中、多くの方にご出席いただき、誠にありがとうございます。
また、例会場提供クラブには準備および本日の運営に対し、多大なるご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

先月、RI 会長エレクトの予期せぬ辞任劇があり、改めてフランチェスコ・アレツォ氏が就任されました。
カルガリー国際大会でもご挨拶させていただきましたが、大変温厚な方とお見受けしました。

さて、第 2660 地区の 2025-26 年の活動スタンスを伝えさせていただきます。

Enjoy Rotary through learning & personal exchanges.
学びと交流を通してロータリーを楽しもう。

今やらなければいけないことは、クラブの活性化、すなわち地区の活性化です。

そしてキーワードを 2 つご紹介いたします。温故創新、そして交流であります。
ロータリー 100 年を超える歴史があります。伝統と歴史から学ぶものもとても多くあります。そうしたところから、ロータリーのご真ん中にあるもの、思いや考えをしっかりと学びながらも、今の時代にふさわしい行動様式や、一部、思考パターンも変えていかなければ、環境変化に対応できないことは明らかです。

デジタルの活用も積極的に進めていきたい。バーチャルとリアルの融合の機会も作っていききたいと思えます。新たな斬新なスタイルにもしっかりと取り組んでいきたいということでもあります。

過去にロータリー RI 会長は、変化にというキーワードでもって様々なメッセージを発信されています。

- ・ MAKING A DIFFERENCE 変化をもたらす。
- ・ ロータリーの変革と成長の機会に目を向ける。
- ・ 継続と変化のバランスをとることの重要性。

常に変化や革新が求められてきました。変化を行動に移すには勇気が要ります。つまりくことも失敗することもあります。ただ、そうした果敢な挑戦や経験が次なる成果につながると信じています。
皆さんと一緒に、ぜひチャレンジをしていきたい。そしてチェンジしていかなければいけない。行動方針であります「より大きなインパクトをもたらす」「適応力を高める」という意味においてもあります。温故創新の精神で存分にチャレンジ・チェンジしていきたい。

次に、交流についてであります。

地区内において新たな交流の機会を創出していきたいと考えています。クラブの活性化も目指さなければなりません。

私は、地区への経験・出向が全くなかったものですから、地区を知るためガバナーノミニの時に 78 クラブを回らせていただきました。

皆さん方には本当に温かくお迎えいただきました。「まだ来るのは早いんじゃないですか？」みたいなことも言われました。温かくガバナーになることを迎え入れていただいて、本当に感謝しています。回りながら、いろんなことを考える良い機会になりました。

今年度から交流活性化委員会を新設させていただきます。

異なるクラブ同士が、それぞれの奉仕活動や趣味などを通して交流をする。そしてクラブのみならず、地区全体で交流が活性化される。そうすることで、ロータリーの会員であることの楽しさ、価値が増えていく、ということ、地区全体が活性化するということを願っています。

地区における親睦・交流を交流活性化委員会が主催するものではありません。あくまでバックアップしていくということでもあります。

「SPORT FOR TOMORROW」というのは、タンザニアで私が知った言葉であります。外務省所管の「草の根文化無償協力資金」というものがあります。スポーツを通して地域、国の発展に寄与する。スポーツに関わる青少年の育成に寄与する。そして将来の成長を支える人づくりをする。我々もその一端に参加させていただいて、甲子園スタジアムが立ち上がることになったわけです。

地区においても、スポーツを通して、FOR TOMORROW、すなわち明日のロータリーを活性化するための仕掛けにできないだろうかということでもあります。



スポーツや趣味を通して、仲間、先輩、後輩といったつながりによってロータリーの入会促進にもつながります。退会防止にもなる。そうした交流活動を積極的に進めていくサポートをしたいということであり

ます。

娯楽だけでなく、奉仕活動でも地区における繋がりを生む機会をつくっていきたいと思っております。

地区内では囲碁大会を開催したいと思っております。また、さまざまな同好会活動を、新たにつくった地区のウェブサイトで共有していきたい。

さらには、ボウリング大会も開催したい。参加することでポリオ活動や子ども食堂への支援にしていく形にしたいと考えております。地区内には子ども食堂支援を行っているクラブが多くあります。

以上を踏まえ、地区の年次目標は以下の通りであります。

「より大きなインパクトをもたらす。」当地区は補助金の活用度合いが全国の中でもトップクラスだと財団委員の方からレクチャーを受けました。より早く、自発的に大きなインパクトを呼ぶ、小さなことでもいいですから、財団補助金を使った活動を目の前で、喜びを共有できるような補助金であれば、なお素晴らしいなと思います。そうして奉仕活動がインパクトにつながるようなことが実現できればいいなと思っています。

財団寄付目標であります、年次寄付目標：150ドル、ポリオプラス：50ドル、恒久基金寄付：30ドル。ローターアクトクラブにも100ドルが求められていますのでぜひお願いします。

参加者の基盤を広げるといことでは、衛星クラブの新たな立ち上げや新クラブ立ち上げにチャレンジしていただきたいなと思っています。そうして積極的な交流を促進するための合同例会の機会も増やしていただきたいと思っています。交流によるクラブの活性化を促進してほしいという思いであります。

さて、各クラブがそれぞれ素晴らしい活動をされていることを実感しております。

例えば、米山奨学金制度。

先日、関西米山学友会40周年の式典に出席してまいりました。学友が現役の奨学生をフォローしています。このような活動が事業を支えているのだと思いました。

そして、インターアクト。去る6月にインターアクトクラブを擁する各学校を訪問してまいりました。

各校共にロータリークラブへは大変好印象を持たれていました。

例えば、昨年度の尾身茂先生への対談は貴重な経験となったとのこと。また、大阪・関西万博テーマウィーク「平和と人権」では世界に生徒が発信する機会を与えられ、大変名誉なことだと。

このテーマウィークについては、みなさんも地区のウェブサイトから視聴登録をお願いしたいです。

将来、彼らが大人になった時にロータリーの記憶がよみがえり、ロータリーへの参加者や支援者となってくれることでしょう。

ただ、これらの素晴らしい活動には、資金とマンパワーが要ります。ロータリーの最大の資産は会員そのものであります。

したがって、会員増強が求められるのです。地区の会員数は5500人から3500人に減少しています。

クラブや地区の交流活性化が必要です。

クラブだけがロータリーではない。クラブ同士を繋げる試みに是非参加を。

地区内の会員を知る機会となる、ガバナー月信の「地区内ロータリアンご紹介」へもぜひ協力いただきたい。

最後、お願いばかりになりましたが、何とかしてクラブと地区を盛り上げていきたいと思っています。一年間よろしくお申し上げます。

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 吉川 健之

